

囚中作

高杉晉作

君不見死爲忠魂菅相公，

靈魂尚存天拜峰。

又不見懷石投流楚屈平，

至今人悲汨羅江。

自古讒間害忠節，

忠臣思君不懷躬。

我亦貶謫幽囚士，

思起二公淚沾胸。

休恨空爲讒間死，

自有後世議論公。

君見ずや 死して忠魂と爲(な)る 菅相公(かんしょうこう)，

靈魂 尚(な)ほ存す 天拜峰。

又た見ずや 石を懷(いだ)きて 流れに投ず 楚の屈平(くつぺい)，

今に至るも 人は悲しむ 汨羅江(べきらこう)。

古(いにし)へ 自(よ)り讒間(ざんかん) 忠節を 害(そこな)ふも，

忠臣 君を思ひて 躬(み)を懷(おも)はず。

我も亦(また) 貶謫(へんたく) 幽囚(ゆうしゅう)の士，

二公を思ひ起こして 涙胸を沾(うるお)す。

恨むを休(や)めよ 空(むな)しく讒間(ざんかん)の爲に死するを,
自(おのづか)ら 後世 議論の 公なる有らん。

人は人 吾は吾なり 山の奥に 棲みて
こそ知れ世の浮沈 高杉晋作

凡人は、概して自分の能力を超えること
をすべて断罪する。 ラ・ロシュフーコー

以上